

2021 ALL JA8 コンテスト 開催要項

多数の皆様の参加をお待ちしております。

* ご注意ください*

- ※ 2018年度より電子ログによる書類の提出方法が変更になりました。要項の10及び11でご確認ください。
- ※ 前回より10代の参加者に対して「奨励賞」を贈っています。詳しくは要項の13をご覧ください。
- ※ 今回から種目に「シングルオペレーター 1.9MHz」が追加されました。
- ※ 1.9MHzと50MHzは、2020年12月03日付けでJARL使用数周波数帯が改正されています。

1 日 時

6月26日(土)21:00 ~ 27日(日)21:00

2 参加資格

国内アマチュア局とSWL

3 使用周波数

JARL主催コンテスト使用周波数帯による。

4 参加部門・種目

〈部門〉①電信 ②電信電話(電話のみも含む)

〈種目〉①シングルオペレーターマルチバンド
②シングルオペレーターシングルバンド
③マルチオペレーターマルチバンド
④SWLマルチバンド

※個人局と社団局の区別はない。

5 呼 出

電信「CQ JA8 TEST」 電話「CQ JA8コンテスト」

6 コンテストナンバー交換

道内局: RS(T)によるシグナルレポート+自局の運用場所を示す北海道振興局ナンバー+年代別符号

道外局: RS(T)によるシグナルレポート+自局の運用場所を示す都府県ナンバー+年代別符号

道内局の例) 電話: 59106A 電信: 599106D

道外局の例) 電話: 5910A 電信: 59910D

<年代別符号>

(年齢=符号=得点)・・・(～19歳=A=1),(20～29歳=B=2),(30～39歳=C=3),(40～49歳=D=4),

(50～59歳=E=5),(60～69歳=F=6),(70～79歳=G=7),(80～89歳=H=8),

(90～99歳=I=9),(100歳～=J=10),(マルチオペレーター=M=1),(YL=Y=5)

7 交信上の注意事項

- ①北海道内で運用する局は、国内アマチュア局との交信が有効とする。
- ②北海道外で運用する局は、北海道内で運用する局との交信が有効とする。
- ③コンテストナンバーが変わらない範囲でのコンテスト期間中の移動運用は認められる。
- ④その他交信上の禁止事項はJARLコンテスト規約による。

※「コンテストガイドライン FAQ」も参考とすること。

JARLホームページ→JARL主催コンテスト→コンテスト関連Q&A

8 得点およびマルチプライヤー

- ①得点は完全な交信により得た年代別符号に対応する数値とする。
- ②同一バンドにおける重複交信(同一局との2回以上の交信)は0点とする。
(注)電波型式が異なる場合の同一局との2回以上の交信も重複交信とする。
- ③都府県・振興局ナンバーの数をマルチプライヤーとするが同一バンド内での重複は認めない。
- ④年代別符号はマルチプライヤーとならないので混同しないこと。

9 総得点の計算方法

- ①シングルバンド: (当核バンドにおける得点の和) × (そのバンドで得たマルチプライヤーの和)
- ②マルチバンド: (各バンドにおける得点の総和) × (各バンドで得たマルチプライヤーの和)
- ③SWL: ②の計算とする

10 書類の作成と提出方法

・Webによる電子ログ提出 または 郵送

※集計作業の軽減と誤りの防止のため、電子ログ提出に協力をお願いする。

- ・電子ログ提出の場合は、JARL 規定の電子ログフォーマット(R2.0)に従いファイルを作成のこと。
- ・「CTESTWIN」等のコンテスト用ロギングソフトを使用することを勧める。
- ・紙ログ提出の場合は、JARL 主催コンテスト所定の紙ログ・サマリーシート様式によりログシート及びサマリーシートを作成のこと。JARL 主催コンテスト規約に準拠し、紙による提出は、原則手書きのもののみを受け付ける。(将来的に電子ログのみの受付に変更することを検討中である。)
- ・ログシート及びサマリーシートの様式は、次の JARL ホームページ「CONTEST」のページからダウンロードできる。
https://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/summary-sheet.pdf
https://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/logsheetsheet.pdf
- ・マルチオペレーターは、オペレーター氏名と無線従事者免許証番号を備考欄に記載。または、一覧表を添付のこと。
- ・郵送の場合は、サマリーシートとログシートは必ずA4サイズで用紙左上を一カ所留めること。

11 書類提出先

電子ログ提出の場合:

JARL 北海道地方本部のホームページ(<http://jarl.hokkaido.jp/>)に、ログ提出専用サイトへのリンクを掲載する。
リンク先にある指示に従って、JARL 規程の電子データフォーマット(R2.0)で作成したデータを入力して提出すること。
(コンテストに関する問合せ専用メールアドレス allja8@jarl.com にデータを送っても受付ないので注意すること。)

郵送の場合:

以下の宛先まで郵送すること。

〒082-0051 北海道河西郡芽室町東1条南7丁目5-8 正村琢磨方 JARL北海道地方本部 宛

12 提出締め切り

2021年7月27日(郵送の場合は消印有効)

13 表彰

- ①道内局と道外局に区別して、各部門・種別に参加局数に応じ賞状を贈る。
○10局以下1位のみ、○11~20局2位まで、○21~30局3位まで、○31局以上5位まで
- ②144MHz以上各部門・種目のうち道外局の書類提出局にはコールエリアの第1位の局に賞状を贈る。ただし
①の賞状を贈る局には発行しない。
- ③青少年の育成を目的として、青少年(10代、符号A)の参加者に対して「奨励賞」を贈る。青少年の参加者においては、サマリーシートの備考欄に生年月日と年齢を記入すること。

14 失格事項

- ①提出書類等がJARL制定のものでない、または同形式のものを使用しないもの。
- ②提出書類等が不備なもの。
- ③2部門、または、2種目以上に書類提出をしたもの。

④そのほか、JARLのコンテスト規約に準じる。

15 発 表

結果の発表は、JN秋号(場合により冬号)と北海道地方本部ホームページに掲載予定。

16 部門および種目のコードナンバー

部門・種目ごとに以下のコードナンバーをそれぞれ記入すること。

種 目	電信電話部門		電信部門	
	道内	道外	道内	道外
シングルオペレーター マルチバンド	HX01	GX01	HW01	GW01
シングルオペレーター 1.9MHz	HX02	GX02	HW02	GW02
シングルオペレーター 3.5MHz	HX03	GX03	HW03	GW03
シングルオペレーター 7MHz	HX04	GX04	HW04	GW04
シングルオペレーター 14MHz	HX06	GX06	HW06	GW06
シングルオペレーター 21MHz	HX08	GX08	HW08	GW08
シングルオペレーター 28MHz	HX10	GX10	HW10	GW10
シングルオペレーター 50MHz	HX11	GX11	HW11	GW11
シングルオペレーター 144MHz	HX12	GX12	HW12	GW12
シングルオペレーター 430MHz	HX13	GX13	HW13	GW13
シングルオペレーター 1200MHz	HX14	GX14	HW14	GW14
マルチオペレーター マルチバンド	HX21	GX21	HW21	GW21
SWL	HX22	GX22	HW22	GW22
チェックログ	CHK			

17 振興局ナンバー

宗谷 101 留萌 102 上川 103 オホーツク 104 空知 105 石狩 106

根室 107 後志 108 十勝 109 釧路 110 日高 111 胆振 112 檜山 113 渡島 114

18 その他

- 札幌市は石狩。沖ノ鳥島、南鳥島、硫黄島は小笠原の区域とする。
- 他エリア局の北海道での移動運用は「道内局」として認める。
- 支庁ナンバーを「振興局ナンバー」に読み替える。(2010年4月)
(※また、幌加内町→上川振興局へ、幌延町→宗谷振興局へ)
- コンテストの使用周波数帯は、SSB において LSB の場合は下限周波数、USB の場合は上限周波数である。周波数の逸脱に注意すること。(https://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/Contest.htm)
- コンテストやログ提出に関する問い合わせは、allja8@jarl.com 宛とする。(メールによるログ提出は受け付けない。詳しくは要項の11確認すること。)